(C)日刊スポーツ新聞社

高橋 長嶋さん 困惑初対面

「まだ巨人選手じゃない」お揃い会見なし

「巨人高橋」はドタバタ騒動の中での誕生となった。21日、ドラフト会議で巨人1位指名を受けた慶大・高橋由伸外野手（22）の長嶋監督とのドラフト当日のご対面が実現した。しかし球団側は読売グループだけの「ツーショット対談」をOKしたため報道各社は大混乱。注目度NO・1の高橋ならではの騒動だが、本人も苦々しい表情を浮かべる「巨人デビュー」となった。

系列紙だけ

笑顔なき「巨人高橋」の誕生となった。巨人のドラフト1位指名が正式に決まり、午前中こそ横浜市の慶大日吉校舎で会見に臨んだ。問題はこの後だった。高橋は後藤監督とともに、報道陣40人以上が待ち受けるドラフト会場隣接のホテルへ。ここから上を下への「ご対面騒動」が繰り広げられた。

「高橋と長嶋監督の初対面」。記念すべきシーンを収めようと、各マスコミが待機していた。ところが巨人側は読売新聞社および系列スポーツ紙に限り、「長嶋－高橋会談」取材を承認した。巨人田中広報部長は「まだ契約前で入団していない選手。今回は長嶋監督付広報と慶大側が了承した。うちは関知しておらず拘束もできない。その社の企業努力」と説明した。しかしドラフト当日だけに混乱は予想され、会談後は「各社を刺激する結果になった。球団で再検討する」と不手際を認めた。

すいません

巨人とすれば系列会社の企画を優先させた結果だが、ドラフト当日に監督とドラフト1位選手の対面をシャットアウトするのは、いくら系列とはいえ、刺激が強すぎる。長嶋監督も「球界の宝」と認める注目度NO・1の選手。ファンにしてもより多くのマスコミを通して「初対面」を見たかったはず。長嶋監督も「某社の企画で30～40分、高橋君と話をしました」とバツの悪そうな表情を浮かべた。

「うちは関知しない」

あおりを食ったのが高橋サイド。慶大・後藤監督は「会談を隠すことはできないと（企画した新聞社側に）伝えた」と話した。今ドラフト最大の目玉だけに、後藤監督の配慮で高橋は会談後に報道陣の前に姿を見せたが、「すいませんでした」と背中を丸めて車に乗り込んだ。スーパースター候補には何とも寂しい"密室ご対面"でのスタートとなった。【田 誠】

指名瞬間は無表情

慶大・高橋は横浜・日吉の慶大キャンパス内の大教室で正式な1位指名の瞬間を待った。この日は髪を短くサッパリして登場。「監督にだらしないって言われて、おととい切ったんです」。自分の名前が読み上げられた瞬間も、逆指名会見と同じく無表情だった。抱負を聞かれると「開幕一軍を目指します」とこれまで通りの言葉を繰り返した。なおこの日の長嶋監督との会談では出なかった背番号の話題は、今日のスカウトあいさつの場で話し合われる。

会場に出向いた高橋だが、ツーショット会見は行われず早々に引き揚げた

順番間違えた事務局ミス

2位指名新沼巡り30分中断

前代未聞の醜態だった。2位指名で3球団が新沼（仙台育英）で競合した。日本ハム、横浜、ヤクルトの順でくじを引き、横浜が交渉権を獲得した。その直後、外した2球団から「くじを引く順番が違う」と異議が出され、会議進行は約30分ストップした。

1位指名が競合－抽選に至った場合、ウエーバー順（その年の下位球団から）にくじを引く。ただ逆指名制度導入（1993年＝平5＝）後、2位指名競合はこれまでになく、取り決めはなし。そこで今会議前コミッショナー事務局では、2位競合の場合はウエーバー順と逆（上位球団から）に引くことを確認した。この旨を会議前にも各球団に伝達。優先事項として司会進行を務めた栗山企画部長が、下位球団の「日本ハム」と最初に指示したため、順番が逆になってしまった。抽選のやり直しを求めるヤクルト、日本ハムに対して、横浜は「絶対に譲れません」と断固拒否。慌ててセ、パ両リーグ会長と3球団の代表者が協議し、判断を議長の原野パ会長に一任した。同会長は「こちらにミスがあった」と陳謝したのち、抽選の有効を認めた。

異議を申し立てた2球団も承諾したが、ヤクルト野村監督は「これが伊藤智や松井（巨人）だったらちょっと待てとなる」と、ぶ然としていた。もし川口（平安）の抽選で同じ失敗が行われていたら、簡単に収拾はつかなかっただろう。会議終了後事務局側は、吉国コミッショナーおよび12球団代表に報告書を提出し、陳謝した。

本人「焦った」

◎…突然のハプニングに当の新沼も戸惑いを隠せなかった。午前11時すぎから始まった会見を終え、ホッとひと息ついた同11時30分すぎ、「抽選の順番が間違って、やり直しかも」の一報が入った。テレビ中継がなかったため、経過が分からず、佐々木順一朗監督（38）と新沼は慌てて会見場を退席した。12球団OKの姿勢だったので球団にこだわりはなかったが、もとのサヤにおさまると、さすがにホッとした様子。「焦りました。教室から会見場まで横浜のことばかり考えていたから、いまさらどうしようと思いましたよ」と大きく息を吐き、自分の運命が揺れ動いた激動の数分間を振り返った。

コミッショナー事務局・栗山企画部長 確認はしていたが、流れでやってしまった。不手際でご迷惑をかけた。くじを引いた球団が気づいてくれれば……。

コミッショナー事務局・馬立法規課長 こちらの大きなミスです。事前に確認しておきながら、弁解の余地はない。

ヤクルト野村監督 アレッと思ったけど、うちの方が間違っているのかなと思った。もう少し早くクレームをつけていれば。（新沼とは）縁がないのかなあ。

ヤクルト田口球団社長 おかしいなと思った。やり直しを求めたが、議事が進行しないので（異議を）おさめるしかなかった。

日本ハム今井取締役 最後の残り物を引くと思っていたから、監督ではなく私が（抽選に）出た。もし当たっていたら、もっと大変なことになっていた。

横浜権藤監督 おれはどっちにしても（くじ順が）真ん中だから間違っていない。

横浜大堀球団社長 やり直しと言われたが、嫌だと言った。密室の出来事ならともかく、テレビでも中継されて本人も記者会見をしようという時に認められない。

ボランティアエース谷口 1位

重油回収ボランティアに参加した石川・町野のエース谷口が、ハマの新星になる。輪島市にある同高では3時限目終了後の休み時間に校内放送で全校に「横浜の1位指名」が放送される騒ぎだった。

本人も「放送を聞いた瞬間、体に震えがきました。教室でみんなと跳び上がって喜びました」と夢心地。だがその後には口元を引き締めて「まだ汚れている故郷の海に恩返しできるよう、頑張ります」と抱負を述べた。

今年1月の重油流出事故は、能登半島北端の谷口の住む地元の浜にも押し寄せた。大窪直二監督（38）が「回収作業に参加しよう！」と音頭を取った。約1カ月間にわたり、野球部も午前8時半から夕方まで強い北風の中、不休でボランティア活動に励んだ。「僕らにできることがあれば、と思うと頑張ることができた」。そんな野球部に、地元の人たちは作業の合間を縫って試合の応援にかけつけてくれた。

「3年後には一軍に上がって、同郷の松井さん（星稜－巨人）と対戦して、抑えたい」。同高から初のドラフト1位で過疎の町にも活気が戻りつつある。回収作業を行った故郷の浜で、谷口はプロへの体づくりに取り組む。

大窪監督（左）と喜びの会見をする町野・谷口

1、2位指名選手と交渉権獲得状況（○は抽選で獲得、×は外れ）

球団	1位	2位
ロッテ	渡辺	寺村
中日	川上	森
ダイエー	永井	篠原
阪神	中谷	井川
日本ハム	清水	×新沼（三上）小田
巨人	高橋	川中
近鉄	×川口 真木	高須
広島	遠藤	兵動
オリックス	○川口	前田
横浜	×川口 谷口	○新沼
西武	安藤	佐藤
ヤクルト	×川口 三上	×新沼 五十嵐

【注】1位と2位が競合した場合は1位を優先させるため、三上はヤクルトが交渉権獲得

ヤの高橋は「隠し玉」

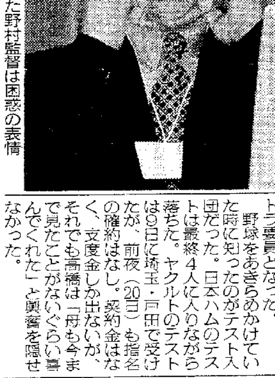
社会人野球やめたイチロー二世

ヤクルト野村監督がプロならぬ社会人選手の再生にも乗り出した。この日のドラフトで、今年6月に社会人野球の一光（いっこう）を退部した高橋郁雄外野手（24＝創価大）を5位指名した。「うちの隠し球。強肩、俊足、強打のイチロー二世や」。同じくテスト生から現在の地位を築いた野村監督が笑顔でエールを送った。

50㍍走5秒9の俊足が武器。片岡取締役スカウト担当も「高橋違いだけれどこちらの方が化けるかも」と、ふられた慶大・高橋の名を引き合いに出して期待を込めた。

「まさかプロに入れるとは。また野球ができると思うとうれしくてたまらない」。千葉・八千代市内の実家で吉報を聞いた高橋は喜んだ。ガソリンスタンドの経営を主な業務とする一光の野球部は5周年となる来春、10人以上の新人が入部予定。高橋はこの余波でリストラ要員となった。

野球をあきらめかけていた時に知ったのがテスト入団だった。日本ハムのテストは最終4人に入りながら落ちた。ヤクルトのテストは9日に埼玉・戸田で受けたが、前夜（20日）も指名の確約はなし。契約金はなく、支度金しか出ないが、それでも高橋は「母も今まで見たことがないぐらい喜んでくれた」と興奮を隠せなかった。



2度とも抽選を外した野村監督は困惑の表情

マルチメディア会見で1位遠藤 4分後仮契約

広島ドラフト1位のNTT関東・遠藤の会見は、同社の誇るマルチメディアを駆使して行われた。「光栄です。目標は（ドジャース）野茂さん。三振が取れて、力で押して打ち取れる投手になりたいです。スピードボールにこだわっていきたい」と話した。指名は午前10時47分。その4分後には逆指名選手の中では、いの一番でスピード仮契約を結んだ。

会見場の最先端技術が威力を発揮した。金びょうぶ代わりにバックに用意されたスクリーンには、埼玉県八潮市内の実家、勤務先のNTT市川支店、千葉県船橋市の野球部合宿所など5カ所がデジタル回線で結ばれ、それぞれの表情が映し出された。会見の模様はNTT関東が開設しているインターネットのホームページで全世界にも紹介。ハイテクを誇るNTTならではの費用約200万円をかけたマルチメディア会見で、遠藤の新たなスタートを演出した。

広島に1位指名されたNTT関東の遠藤は、インターネットを通じNTTのホームページで生中継する珍会見を行った〈カメラ・中島郁夫〉

インターネットで指名知る 近7位高塚

プロ入りを熱望していた智弁和歌山・高塚は学校内のパソコンを使ったインターネットで近鉄7位指名を知った。「順位は気にしない。やっと決まってホッとしている」。高塚は涙目で夢の実現をかみしめた。女房役、中谷仁捕手（3年）は阪神1位。記念撮影したり胴上げされたりの同僚を見て「複雑な気持ちでした」。右肩痛との闘いは残るが「1年はじっくり治療したい。ケガを克服した荒木大輔さん（元横浜、日刊スポーツ評論家）が目標」と話した。

ヨジンのキョイ 巨4位小田

巨人の4位指名を受けた三菱重工神戸・小田がナゾの奇声を発した。グラウンドへ練習に向かう途中のバスの中、マネジャーからの電話で指名を知ったが、巨人の4位というところを「ヨ、ヨジンのキョイですか？」と大興奮。山口敏弘監督も「喜び過ぎ」と大笑いだ。社会人3年目でのプロ入りを公言し続けてきただけに、喜びもひとしお。早ければ指名後の巨人の初訪問を受ける26日にも「巨人小田」が誕生する。

新婚さんに朗報 巨6位中村

北海道への新婚旅行から前日（20日）帰ったばかりの新日鉄八幡・中村に、朗報が届いた。巨人から6位指名の連絡を受け「びっくりしました」。環（たまき）夫人（22）は来年4月には2世も誕生するとあって「この子のためにも、頑張ってほしいですね」。

意中球団ホッ 神2位井川

水戸商・井川がほっとした。ドラフト直前に日本ハムの強行指名の可能性があったものの、結局、意中の阪神が単独2位指名。「ひと安心しました。本当にうれしいです」と満面の笑みを浮かべた。腰痛が完治していないため、ウエートや走り込みで調整を行っているが「1年目は上半身を中心に、体づくりに専念したい。同じ左腕の川口君（平安）と日本シリーズで投げ合いたいですね」と早くも気合十分だった。

夢がかなった 日4位飯山

九州高校球界NO・1遊撃手のれいめい・飯山が日本ハムの4位に指名された。「小さいころからプロ野球選手になるのが夢でした。うまく行き過ぎてこわいくらい」と、満面の笑みを見せた。「本人の望んでいるようになり、良かった」と今村哲朗監督（42）が語っており、日本ハム入りに何の支障もない。遠投110㍍、50㍍走6秒1の強肩、俊足の大型内野手は、「西武の松井さんのように走攻守三拍子そろった選手になりたい」と、抱負を口にしていた。

フリーター選手 日6位日里

異色の「フリーター選手」日里が無事日本ハムの6位指名を受けた。社会人野球の会社が倒産してから週1回のクラブチームで目指していた夢がかない「やっとほっとしました」。ゼロからの出発となるが、春日部工2年夏に県大会準決勝で敗れた春日部共栄・土肥（プリンスホテル）が西武4位で指名されたことを知ると浮いた声は消えた。「本当ですか？ 負けっぱなしでしたから、また対戦したい」と言い切った。

3人目の分校出 西6位芝崎

西武に3人目の日高高中津分校出身が誕生した。6位指名の大和銀行・芝崎は、垣内の1年後輩で、来季から打撃投手に転向する千原の2年先輩に当たる。この日は大阪市内の同社で「プロ行きには前向きです」。今ドラフトは、西武としては初の指名選手全員が投手という徹底ぶり。しかも芝崎が入団すれば選手では6人目の和歌山出身者になる。同郷の孝行息子の交渉権を得て、東尾監督も大満足となった。

契約金1億円 ダ2位篠原

ダイエー2位の篠原が、ドラフト当日に仮契約、入団を決めた。指名後、村上球団社長と小川スカウトが、三菱重工長崎本館（長崎市）を訪れ、契約金1億円、出来高5000万円、年俸1300万円の最高条件提示に一発サイン。「野球をやってきて最高の日です」と喜びをみせ、同じ左腕の工藤を挙げ、「すべて見習って少しでも近づきたい」と"弟子入り"を宣言。異例のスピード入団に

日刊スポーツ・リアルタイム情報（有料）
プロ野球・スポーツ電話速報 東京地区 0990(52)0089 横浜地区 0990(52)7089 東海地区 0990(52)2089 九州地区 0990(52)3089 仙台地区 0990(52)8089 札幌地区 0990(52)9089
●情報料は1分70円 FAX速報は0990(51)6954へ・情報料は1分80円です
一般及び公衆電話 からは03(5645)7789へおかけ下さい。カード（JCB、日本信販、オリエントコーポレーション、ダイナース、国内信販）番号や暗証番号のプッシュでかけられます。
FAX速報（野球、サッカー、プロレス、競馬、競輪、他）は03(5645)7711へ・情報料は1分100円です
お問い合わせは03(3546)5915へ

Good Morning

スカウト極意は一目ぼれ

「選手獲得の極意は、一目ぼれから」と語るのは日本ハム編成部顧問の木庭教さん（71）。この道41年のスカウトです。「あなた買います」といわれた自由競争の時代から逆指名ドラフトまで。広島を振り出しに、横浜、オリックス、日本ハムの各球団で、多くの人材を発掘してきました。

とくに広島時代には、赤ヘル黄金時代を築く選手を獲得しました。2215の連続試合出場記録をマークした衣笠祥雄内野手。42歳で防御率1位に輝いた大野豊投手も「一目ぼれ」組。

木庭さんの選手発掘のポイントは三つ。❶ハングリーであること❷肉体的な資質❸勝負強さ。長年の経験で、この三つの条件を満たしている選手を一目で感じ取れるといいます。

普通の感覚では、何度でも選手のところへ足を運び、細かく調べるのがスカウトの仕事だと考えますが、そうではないのです。「何回も通うと、欠点が目についてくる。そうすると迷いが出る」。一目ぼれ選手がいたら、遠くから成長を眺めて、周囲を固めていくそうです。足を使って誠意をみせるのは、交渉に入ってから。ベテラン・スカウトの人材発掘と獲得法。私たちにも学ぶところがあると思います。【野崎靖博】

メッツ待ち後松

◎…米大リーグ・メッツから身分照会を受けていた秋田・大曲工の後松（うしろまつ）重栄投手（3年）だが、国内のチームからは指名はなかった。このことでメ軍との交渉も可能となった。「大リーグは、野球を始めたころからあこがれていた」。東農大進学も選択肢の中のひとつに入っているが、推薦入学の願書提出期限は過ぎており、後はメ軍からの交渉を待ってから決断することになる。

オ5位高橋 「トネオ」にして

オリックス5位指名の本田技研・高橋は、登録名に「トネオ」を希望している。出身地である群馬県利根郡の地名をもじったもので、大学時代から約8年間このあだ名で呼ばれている。オリックスに高橋姓が二人いることや、利根郡から初のプロ野球選手となることから今後の契約交渉の席で強くアピールしていく。

広池指名なし

◎…大企業のサラリーマンを捨て、プロを目指す広池浩司投手（24）の指名はなかった。2年前まで立大野球部に在籍。卒業後、一度は野球を離れて全日本空輸に就職したものの、「もう一度投手を。打撃投手でも構わない」ととことんやりたい」と広島の入団テストを受験。2年間のブランクを乗り越えて最終選考まで残り、10月31日付で同社を退社。異色の存在として注目されていたが、広島が予定通りのドラフト戦略を成し遂げたため、今年の指名は見送られた。

PL5年連続指名

◎…PL学園（大阪）が新記録を作った。小林がロッテの6位指名を受け、これで1993年（平5）の松井和夫（現稼頭央＝西武3位）から5年連続ドラフト指名選手を輩出。上宮（大阪）宇和島東（愛媛）と並んでいた4年連続を1年更新した。小林は「先輩のサブローさんもおられますし、高校時代に"対戦したい打者"として目標にしてきた上宮の渡辺君と同じチームでやれるのも楽しみです」と抱負を語った。

母校での練習OK 指名高校生

ドラフト指名された高校生も、今年から母校で練習を続けられるようになった。ドラフト会議後、議長を務めたパ・リーグ原野会長が、日本高野連から申し出があった「退部届を提出した野球部員の自校練習参加の取り扱い規定」について12球団に説明。ドラフト指名後あるいは契約後も、母校で後輩たちとともに練習できることになったことを伝えた。

◆名古屋日刊スポーツ新聞社臨時株主総会 名古屋日刊スポーツ新聞社は21日午前11時から本社会議室で、臨時株主総会を開き、同日付で次の役員人事を決定、発令した。
▽取締役 前田攻悳（名古屋朝日会館会長）▽同（朝日新聞名古屋本社営業局長）崎川洋光▽退任（取締役）田中昭三（同）金子佳弘

'97ドラフト指名全選手

球団	順位	選手名	年齢	位置	所属
ヤクルト	❶	三上 真司	18	投	敦賀気比
	❷	五十嵐 亮太	18	投	敬愛学園
	❸	大脇 浩二	18	内	北照
	❹	大山 貴広	17	内	大洲
	❺	高橋 郁雄	24	外	元一光
横浜	❶	谷口 邦幸	18	投	町野
	❷	新沼 慎二	18	捕	仙台育英
	❸	関屋 智義	18	投	愛知商
	❹	田中 充	18	外	西京商
	❺	宮内 洋	24	内	元住友金属
広島	❶	遠藤 竜志	21	投	NTT関東
	❷	兵動 秀治	18	内	佐賀商
	❸	林 昌樹	17	投	興誠
	❹	小林 幹英	23	投	プリンスホテル
	❺	倉 義和	22	捕	京産大
	❻	青木 智史	18	外	小田原
	❼	岩崎 智史	18	内	平塚学園
	❽	橋本 啓	18	投	天理
巨人	❶	高橋 由伸	22	外	慶大
	❷	川中 基嗣	23	内	日本通運
	❸	山田 真介	18	投	上宮
	❹	小田 幸平	20	捕	三菱重工神戸
	❺	田中 健太郎	18	投	松商学園
	❻	中村 善之	22	投	新日鉄八幡
	❼	吉村 将生	18	内	東海大四
	❽	平松 一宏	23	投	JR西日本
阪神	❶	中谷 仁	18	捕	智弁和歌山
	❷	井川 慶	18	投	水戸商
	❸	橋本 大祐	22	投	富士大
	❹	坪井 智哉	23	外	東芝
	❺	山岡 洋之	22	投	東北福祉大
	❻	奥村 武博	18	投	土岐商
中日	❶	川上 憲伸	22	投	明大
	❷	森 章剛	18	外	藤蔭
	❸	正津 英志	25	投	NTT北陸
	❹	鈴木 郁洋	22	捕	東北福祉大
	❺	井端 弘和	22	内	亜大
	❻	高橋 光信	22	内	国際武道大
	❼	白坂 勝史	22	投	関東学院大
	❽	清水 清人	18	捕	邇摩
西武	❶	安藤 正則	22	投	専大
	❷	佐藤 友紀	18	投	神戸弘陵
	❸	鳥谷部 健一	18	投	柏陵
	❹	土肥 義弘	21	投	プリンスホテル
	❺	大島 寛	25	投	デュプロ
	❻	芝崎 和広	26	投	大和銀行
	❼	平良 幸一	27	投	沖縄電力
オリックス	❶	川口 知哉	18	投	平安
	❷	前田 和之	22	投	日通名古屋
	❸	前田 浩継	21	投	九州共立大
	❹	杉本 潔彦	23	投	日産自動車九州
	❺	高橋 信夫	25	捕	本田技研
	❻	永田 能隆	24	投	北陸銀行
近鉄	❶	真木 将樹	21	投	法大
	❷	高須 洋介	21	内	青学大
	❸	森谷 昭仁	18	外	豊川
	❹	吉川 元浩	18	投	東農大二
	❺	田中 祐貴	18	投	杜若
	❻	代田 建紀	23	外	朝日生命
	❼	高塚 信幸	18	投	智弁和歌山
日本ハム	❶	清水 章夫	22	投	近大
	❷	小田 智之	18	内	興誠
	❸	原田 健二	21	投	三菱自動車水島
	❹	飯山 裕志	18	内	れいめい
	❺	古城 茂幸	21	内	国士大
	❻	日里 正義	21	外	全三郷
ダイエー	❶	永井 智浩	22	投	JR東海
	❷	篠原 貴行	21	投	三菱重工長崎
	❸	木村 茂	22	投	千葉商大
	❹	星野 順治	23	投	NKK
	❺	辻 武史	18	外	星稜
	❻	笹川 隆	18	内	東海大菅生
ロッテ	❶	渡辺 正人	18	内	上宮
	❷	寺村 友和	23	投	本田技研
	❸	藤田 宗一	25	投	西濃運輸
	❹	礒 恒之	21	投	城西大
	❺	於保 浩己	22	外	九州共立大
	❻	小林 亮寛	18	投	PL学園
	❼	白鳥 正樹	22	投	城西大

◆アマ・プロ野球「私もひと言」◆ オリックス一本の平安・川口は、プロ向きの性格だ。こういう一徹さがないと厳しい世界では成功しない。イチロー以上のスターになれ（海上潮、32＝東京・世田谷区）

12球団のクジ勝敗表（78～97年）

球団	クジ勝敗	当せん率	主な獲得選手		
巨人	11勝12敗	47.8%	80年原辰徳	82年川相昌弘	92年松井秀喜
西武	10勝11敗	47.6%	78年森繁和	80年石毛宏典	85年清原和博
横浜	12勝15敗	44.4%	88年宮里太	91年斎藤隆	94年紀田彰一
ロッテ	11勝15敗	42.3%	80年武藤一邦	85年園川一美	95年沢井良輔
ヤクルト	16勝24敗	40.0%	82年荒木大輔	84年広沢克己	92年伊藤智仁
オリックス	11勝18敗	37.9%	84年熊野輝光	87年伊藤敦規	91年田口壮
中日	9勝16敗	36.0%	86年近藤真一	87年立浪和義	90年矢野輝弘
広島	11勝20敗	35.4%	83年川端順	87年川島堅	90年高橋英樹
ダイエー	10勝20敗	33.3%	86年田島俊雄	91年若田部健一	91年浜名千広
近鉄	10勝21敗	32.2%	83年小野和義	86年阿波野秀幸	89年野茂英雄
阪神	9勝19敗	32.1%	79年岡田彰布	83年仲田幸司	84年嶋田章弘
日本ハム	9勝20敗	31.0%	79年木田勇	82年田中富生	87年小川浩一

高橋クン4人 97ドラフトデータ

◆出身別内訳 ポジション別の最多は、昨年より8人増えた投手で46人。西武は指名した7人がすべて投手。7人も投手を指名したのは、1972年（昭47）の巨人、太平洋以来25年ぶり。全員が投手というケースは、95年（平7）オリックス以来延べ6チーム目。

◆重複指名 昨年はなかったが、今年は1位川口が4球団、2位新沼が3球団で競合。4球団以上の重複指名は19度目になるが、オリックスはこれまで66年1位江夏、79年1位岡田、83年1位高野、89年1位野茂、95年1位福留と過去5度すべて外れクジ。初めて4球団以上の抽選に勝った。また、ヤクルトのように1、2位の抽選で2度とも外れたのは、91年西武以来。

◆高橋姓が4人 同一姓の選手が4人以上指名されたのは、佐藤姓の選手が5人いた69年以来、28年ぶり。今回ドラフトされた選手が全員プロ入りしたとすると、高橋姓の現役選手は13人となり、鈴木の10人（イチローを含む）を抜いて最も多くなる。

指名選手出身別内訳

位置	高校	大学	社会人	合計
投手	17(12)	11(13)	18(13)	46(38)
捕手	3(1)	2(4)	2(4)	7(9)
内野手	8(7)	5(5)	2(5)	15(17)
外野手	5(3)	2(3)	4(2)	11(8)
合計	33(23)	20(25)	26(24)	79(72)

【注】（ ）は昨年

レイアウト 平田勝宏